

武蔵工業大学後援会誌

Mi-COM

No. 24

2001-8



『大学にも慣れたし、友達も出来た。5月病などどこ吹く風さ。』

『スポーツ大好き!? それでは、あなた、出番です。』

集う有志が雄姿を競い、勝者はその日、勇士になる。

『やったぜ、一番絞り!』(お酒は20歳を過ぎてから)

5月22・23日に行われた体育祭にて

旅にでよう



武蔵工業大学 後援会会長
中山 安男

社会人になると長期に休むことがなかなか出来なくなります。学生生活には夏休みや冬休みがあります。皆さんはどのように過ごしているのでしょうか？

今から31年前の夏、リュックサック一つ、ポケットには500ドルを持った若者を乗せたDC8のジェット機が甲高い金属音を残して羽田空港を飛び立った。若者の初めての飛行機旅行がアメリカであった。そのころ日本にも音楽や映画、ファッションなど海外の文化が溢れだしていた時代であった。一方、学園では学生運動が盛んな時代であった。

若者の予定は2ヶ月。最初の1ヶ月はニューヨークから2時間あまりのユースキャンプでのスタッフ。そして1ヶ月でニューヨークからサンフランシスコまでのバスによる横断。

キャンプでは、世界中から集まったスタッフと共に各国の文化を紹介したり、アウトドアライフのインストラクターをしての共同生活。初めて会う国の人、初めて聞く言葉、肌の色も考え方も日本とはまったく違う世界の文化に触れた1ヶ月であった。この時はまだアメリカの大きさ強さを実感をしていなかった。ただ毎日が初体験の連続でした。

一ヶ月後、少しの給料を手にした若者はキャンプを離れ、いよいよアメリカ大陸の横断に出発します。1ヶ月大陸乗り放題の99ドルのバスのチケットを購入しニューヨークからサンフランシスコまでの6000キロのバスの旅。

まず、ニューヨークへ。東京とは比べ物にならないくらいのスカイスクレーパー(高層ビル群)の街は一瞬で若者を圧倒した。

ファッション、食べ物、音楽、映画などあらゆる最新の文化が溢れたエネルギッシュな街、これこそスーパーシティ。吹く風も、町の臭いも。

夜行バスに乗り、この街の魅力に後ろ髪を引かれながらニューヨークを後にした若者は、見知らぬ小さな町でのホームステイでアメリカの家庭生活を繰り返しながら西へと向います。走れど走れど限りなく続く大地。大都会とはまた違った素朴な人達との出会い。人間の小ささを感じるとともに、自然の豊かさに心が洗われる。真っ黒に日焼けした若者はサンフランシスコに到着。この旅で若者には着実にアメリカ文化が体に染みついていったのであろう。この経験はその後の彼の人生観を大きく変えていきました。自由主義とは？ 合理性とは？ 人生とは？

今では、航空機の発達によってだれでも簡単に海外に出かけることができるようになり、またインターネットの発達も地球をボーダーレス化して、だれでも簡単に異文化に触れられるようになりました。

しかし、体験に勝るものはないと思います。風の熱さも、空気の重さも、青い空の清々しさも。そして人の心も。

皆さん、旅にでましょう。未知の土地での人や自然との出会いは自分発見になります。

ところで、若者は帰国した翌年の1971年、銀座でアメリカと同じハンバーガーが食べられるようになった時に真っ先に駆けつけました。80円。私は今でもハンバーガーが大好きです。



1970年7月、ニュージャージー州のキャンプにて、オフタイムの一時。



平成13年度

評議員会が開催される

武蔵工業大学後援会の平成13年度評議員会が平成13年5月26日(土)午後2時45分から世田谷キャンパス3号館311教室において役員、評議員97名(うち委任出席35名)の出席のもとに開催されました。

評議員会は中山会長の開会の挨拶で始まり、役員及び今年度新しく評議員に就任された23名の方々が紹介された後、議事に入りました。議事は事務局から第1号議案から各議案ごとに提案説明され、その後、この説明に基づいて審議され採決の結果、次の議案が原案の通り可決、承認されました。

武蔵工業大学後援会 平成13年度評議員会

平成13年5月26日(土)
世田谷キャンパス311教室(五島記念館1階)

- 1.開会の辞 中山会長
- 2.報告事項
平成13年度後援会入会者数及び会員数について
- 3.議事
第1号議案 平成12年度 事業報告について
第2号議案 平成12年度 決算報告について
第3号議案 平成13年度 事業計画(案)について
第4号議案 平成13年度 予算(案)について
第5号議案 平成13年度 役員候補者について
- 4.その他
- 5.閉会の辞 漆原副会長



堀川学長からの挨拶。



議事進行される中山会長と浅野学生部長、海老原前学生部長



会場となった311教室。



会計監査の結果報告。

平成12年度 事業報告

1 事業

1. 正課外教育援助

課外活動援助

学生団体連合会への援助

学生団体連合会への課外活動の援助金として14,000,000円を援助(平成12年7月3日)

同好会連合及び学科研究会連合に課外活動援助金として1,160,000円を援助

(平成12年7月3日、平成13年3月26日)

「課外活動に対する補助制度」により第1回、第2回、第3回合計53件(同好会及び個人含む)へ総額6,908,737円を援助

・第1回 平成12年7月3日 12団体(14件)

・第2回 平成12年11月17日 18団体(26件)

・第3回 平成13年1月22日 10団体(13件)

主な援助

- (1) 試合結果が優秀につき奨励補助としてラグビー部、アイスホッケー部等に対し援助を行った
- (2) 学生団体連合会横浜分室に対し印刷機導入費用の補助を行った
- (3) 横浜キャンパス音楽団体連合会に対し共有機材購入の援助を行った
- (4) 連盟主催リーダー講習会に参加するワンダーフォーゲル部に対し参加経費の補助を行った
- (5) 機親会に対し次期省エネカー製作の補助を行った
- (6) ラグビー部に対し全国大会への出場経費の一部補助を行った

他

学生行事に対する援助(2,951,666円)



▲パラリンピック水泳競技 金メダリスト 成田真由美さんによる講演。スプリングフェスティバルにて。

- (1) スプリングフェスティバルへの援助
- (2) 体育会主催の体育祭への援助
- (3) 学生団体連合会主催によるMI-TECH横浜祭の運営資金を援助
- (4) 文化団体連合会主催のミュージックフェスティバルの運営費を援助

(5) 学生団体連合会主催によるMI-TECH祭の運営資金を援助

他

強化団体指定による援助(900,000円)

平成12年度の強化団体として指定したラグビー部、アメリカンフットボール部、及びハンドボール部に対し、チーム強化のための資金を援助

その他の援助(1,842,750円)

シャトルバス運行の援助

学生顕彰

大学の学生表彰(学長賞、学生部長賞、課外活動奨励賞)のうち、課外活動奨励賞を授与し、副賞を贈呈

在学中、課外活動に貢献した学生を選考し、22名に「後援会長賞」を授与・表彰

平成12年度「後援会長賞」受賞者

氏名	主な功績	進路先
嶋原正俊(機械)	体育会会長・バレーボール部主将	日本福祉サービス㈱
南 鈺 赫(機械)	留学生学生会長	北洋情報システム㈱
平井泰嗣(機械)	新聞学生会長	その他
櫻本清隆(機械)	アイスホッケー部主将	武蔵工業大学大学院(機械修)
菅野千草(機械/アム)	文化団体連合会本部長	日本プラントエンジニアリング㈱
養輪幸紀(機械/アム)	バトミントン部主将	㈱テック
脇田善幸(機械/アム)	MFA 会長	東プ㈱
高橋敬太郎(電気電子)	体育会副会長	(株)シーシー
中村宗一(電気電子)	天文研究会会長	その他
佐藤 隼(電子通信)	サイクリング同好会部長	九州旅客鉄道(株)
富田泰子(電子情報)	吹奏楽団 団長	その他
矢古宇智子(電子情報)	学生団体連合会執行委員長	あとらす二十一(株)
青木武之(建築)	体育会会長	(株)穴吹工務店
仲條正人(建築)	学生団体連合会執行委員長・剣道部部長	武蔵工業大学大学院(建築修)
門 間 健(土木)	文化団体連合会 本部長	武蔵工業大学大学院(土木修)
鏡 司 敦(土木)	ラグビー部主将	(株)荏原製作所
鐘 浩 司(経営)	ラグビー部副将	千代田電気(株)
和田英俊(経営)	ラグビー部副将	荏原テクノサーブ(株)
内山孝文(工業/アム)	閃源会会長	(学)五島育英会
佐藤宣友(情報/アム)	YFA 会長	センコー(株)
隅田照久(情報/アム)	第1回横浜ファミリ横浜祭企画責任者	武蔵工業大学大学院(環境情報修)
望月優生(情報/アム)	フットサルサークル Woods Bear 会長	日本建設コンサルタンツ(株)

学生の生活指導に対する援助

全学生団体を対象に「救命講習会」の受講を義務付けさせ、その受講費用を援助(1団体1名を義務付け、68名が参加)就職活動に対して援助

2. 「大学と父母との連絡会」への援助と協力

全国26会場で開催された「父母との連絡会」の費用の一部を負担

東京及び横浜会場においては中山会長が後援会を代表して挨拶(平成12年9月30日)

地方会場においては、評議員の方々への会の運営等にご協力をいただいた

3. 大学行事への協力

平成12年度入学式に五艘会長が来賓として出席し祝辞

(平成12年4月2日)

学校法人五島育英会傘下の後援会合同後援会懇親会に中山会長が出席(平成12年7月1日)

平成12年度学生表彰授賞式に中山会長が出席し、課外活動奨励賞を授与(平成13年2月21日)

平成12年度学位授与式に中山会長が来賓として出席し、「後援会長賞」を授与(平成13年3月19日)



4. 学生厚生援助

屋外用分別屑入れ(21個) 寄贈
 体育館(14号館)柔道場畳張替えの一部援助

5. 後援会緊急奨学金

会員の家計急変により学業の継続が困難な学生に対して
 授業料相当額(全額又は半額)を貸与する緊急奨学金は、
 今年度は、3名に対し総額 2,600,000円を貸与
 (第1回 平成12年5月25日, 第2回 平成12年11月7日)

6. 会報の発行

後援会の会誌「Mi-com 22号」を刊行し、会員へ送付(平成12年8月)
 後援会の会誌「Mi-com 23号」を刊行し、会員へ送付(平成13年1月)

7. 新入生研修行事(フレッシュマン・キャンプ)に対する援助



平成12年4月6・7日(環境
 情報学部) 平成12年4月
 17・18日(工学部)に実施
 された新入生を対象とし
 た研修行事に対して援助

◀フレッシュマンキャンプ / 箱根

8. 入会案内等の送付

平成12年度入学者のうち、未入会の父母宛に再度入会案内を
 送付(平成12年 4月 28日)
 平成13年度各入学試験合格者の父母宛に入会案内を送付
 A方式入試(一般入試)
 ・平成13年 2月13日(工) ・平成13年 2月18日(環)
 B方式入試(センター試験利用入試)
 ・平成13年 2月13日
 C方式入試(一般入試)
 ・平成13年 3月 5日

9. その他

学生(会員)等の死去に際し、香典・花環等を供えた
 大学へ「課外活動奨励賞」の候補者の推薦依頼
 大学へ「後援会長賞」の候補者の推薦依頼

2 運 営

1. 理事会(2回)

平成12年 5月13日(土)
 第1号議案 平成11年度 事業報告について
 第2号議案 平成11年度 決算報告について
 第3号議案 平成12年度 事業計画(案)について
 第4号議案 平成12年度 予算(案)について
 第5号議案 平成12年度 役員候補者について
 第6号議案 武蔵工業大学後援会会費取扱内規(案)について

平成12年11月25日(土)

第1号議案 平成12年度 後援会事業経過について
 第2号議案 平成12年度 後援会会員数について
 第3号議案 平成12年度「大学と父母との連絡会」の結果について
 第4号議案 後援会の次年度に向けての運営について
 4-1 平成13年度 後援会主要会議等予定(案)
 4-2 平成13年度 後援会役員、評議員構成(案)
 4-3 平成13年度入学予定者に対する入会案内の送付日程(案)

2. 評議員会(1回)

平成12年 5月27日(土)
 第1号議案 平成11年度 事業報告について
 第2号議案 平成11年度 決算報告について
 第3号議案 平成12年度 事業計画(案)について
 第4号議案 平成12年度 予算(案)について
 第5号議案 平成12年度 役員候補者について

なお、当日は評議員会に先立って、新たにお問い合わせの評議員
 の方々の学内見学を行い、また評議員会終了後には、大学
 教職員との懇親会を開催した

3. 会計監査

平成12年 4月22日(土)
 高橋、原田両会計監査により、平成11年度の会計監査を実施

4. その他

後援会事務担当者の採用
 (専任・アルバイト 平成12年4月~平成13年3月)

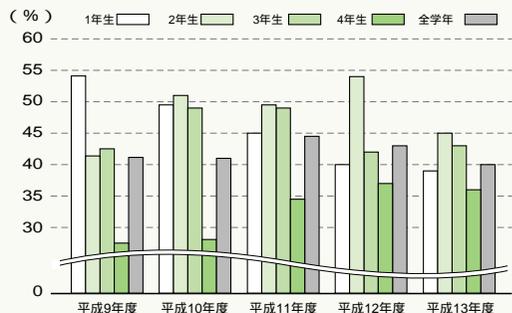
平成13年度後援会会員数 (平成13年5月25日現在)
 学部

組織	工 学 部										環境情報 学部	合計
	機械	機械 システム	電気 電子	電子 通信	電子 情報	建築	土木	経営	エネ トイ 基礎	環境情報		
1年生	78	67	71	89	61	76	77	63	35	120	737	
2年生	109	77	106	89	56	87	85	88	40	149	886	
3年生	113	76	72	96	77	112	103	84	52	186	971	
4年生	138	96	135	134	83	112	111	168	50	177	1,204	
合計	438	316	384	408	277	387	376	403	177	632	3,798	

大学院

組織	工 学 研 究 科							環境情報 学研究科	合計
	機械	生産情報 システム	電気	建築	土木	経営	原子力		
専 攻 生	55	38	170	48	45	21	22	7	406

過去5年間の在学生クラブ加入率



平成12年4月1日～平成13年3月31日

科 目	平成12年度予算	平成12年度決算	差 異	備 考
(収入の部)	(円)	(円)	(円)	
1.会 費	44,850,000	45,500,000	650,000	新入生の加入者
2.奨学金返済収入	704,000	615,000	89,000	奨学金返済金
3.雑 収 入	110,000	120,339	10,339	利息収入
4.前年度繰越金	12,142,933	12,142,933	0	
収入の合計	57,806,933	58,378,272	571,339	
(支出の部)				
事業費	47,070,000	40,787,643	6,282,357	
5.正課外教育援助費	29,570,000	25,907,911	3,662,089	援助の内容については下表を参照
6.父母連絡会費	3,400,000	3,556,825	156,825	全国各地で年1回大学と共催
7.大学行事協力費	3,000,000	2,635,000	365,000	体育祭、MI-TECH祭(学園祭)等
8.学生厚生援助費	3,000,000	1,310,407	1,689,593	厚生設備等への援助
9.奨学資金費	3,000,000	2,600,000	400,000	緊急奨学金
10.会報発行費	3,000,000	2,677,500	322,500	後援会広報誌の作成(2回)
11.新入生研修行事費	2,100,000	2,100,000	0	全学的に行うフレッシュマンキャンブに係わる援助
運営費	7,730,000	6,916,541	813,459	
12.事務 費	4,400,000	4,393,618	6,382	人件費、事務委託費、消耗品費
13.会 議 費	1,400,000	956,408	443,592	理事会、評議員会
14.印刷・通信費	500,000	551,460	51,460	通知、案内の郵送、印刷代
15.旅費・交通費	1,200,000	867,130	332,870	地方評議員、役員の旅費
16.備 品 費	200,000	120,540	79,460	後援会関係の備品、什器
17.雑 費 費	30,000	27,385	2,615	振込手数料等
予 備 費	1,000,000	252,895	747,105	
特別会計	2,000,000	2,000,000	0	
18.後援会基本積立	0	0	0	将来の事業拡大のため
19.記念事業費積立	1,000,000	1,000,000	0	大学創立記念事業協力
20.学生事故対策援助費積立	1,000,000	1,000,000	0	学生事故対策として1,000万円まで積立
21.特別課外活動援助費積立	0	0	0	大規模な対外遠征援助500万円まで積立完了
小 計	57,800,000	49,957,079	7,842,921	
次年度繰越金	6,933	8,421,193	8,414,260	
支出の合計	57,806,933	58,378,272	-	

予算に対し決算が超過した場合に 印を付した。

正課外教育援助費内訳

科 目	平成12年度予算	平成12年度決算	差 異	援 助 対 象
正課外教育援助費	29,570,000	25,907,911	3,662,089	
課外活動援助費	27,570,000	25,128,153	2,441,847	(ア)(イ)(ウ)(エ)は「課外活動に対する補助制度」の費用。(オ)は強化指定団体制度により運用
(ア)学団連援助	(14,000,000)	(14,000,000)	(0)	学団連本部、体育会・文化団体連合会各部、MI-TECH祭実行委員会、MI-TECH横浜祭実行委員会、吹奏楽団、放送会、新聞会
(イ)同好会・学科研究会援助	(1,170,000)	(1,160,000)	(10,000)	学団連加盟の同好会連合及び学科研究会連合の各団体
(ウ)一般援助	(8,700,000)	(6,908,737)	(1,791,263)	課外研究、対外活動、情報収集活動、環境向上運動、用具整備、特別企画、地域活動
(エ)学生行事援助	(1,000,000)	(316,666)	(683,334)	スプリング・フェスティバル、ミュージック・フェスティバル等
(オ)団体強化援助	(900,000)	(900,000)	(0)	強化指定団体
(カ)その他の援助	(1,800,000)	(1,842,750)	(42,750)	シャトルバス援助
学生顕彰費	700,000	636,758	63,242	課外活動奨励賞、後援会長賞等
学生生活指導費	1,300,000	143,000	1,157,000	救命講習会受講料援助、就職活動援助

平成13年度 事業計画

1 事業

1. 正課外教育援助

学生の課外活動のより一層の活性化をはかるため、学生団体及び学生行事等に対して援助を行う

(1) 課外活動援助

「課外活動に対する補助制度」による援助を行う

学生団体連合会へ課外活動の援助金を支給

学生団体連合会へ準加盟の同好会及び学科研究会の連合団体へ組織運営のための援助金を支給

以下の2項目の援助については、援助希望団体(個人)の申請に基づき、大学学生部の意見をを受けて決定

「課外活動に対する補助制度」による一般援助を行う

課外研究、対外活動、環境向上活動、情報収集活動、用具整備、特別企画、地域活動、活動奨励等

学生行事への援助を行う

スプリング・フェスティバル、ミュージック・フェスティバル、公開企画、特別行事等に対する援助

強化団体指定による援助を行う

関東リーグ相当クラスの上位リーグで活躍する団体に対して、チーム強化のための援助を行う

(関東リーグ3部以上相当：関東ランキング24位前後以上を目安)

その他の援助を行う

シャトルバス運行の援助

(2) 学生顕彰

課外活動奨励賞の授与

学生表彰授賞式において、課外活動奨励賞として、賞状及び副賞を授与
後援会長賞の授与

学位授与式(卒業式)において、課外活動に貢献した学生約20名を表彰し、賞状及び副賞を贈呈

(3) 学生生活指導

学生の生活指導に対する援助を行う

学生団体の責任者を対象とした「リーダーズ研修会」の費用の一部援助
安全教育として学生団体を中心に「救命講習会」の受講を義務付け、その費用を援助

学生(留学生含む)の国際交流活動に対し援助

学生の就職活動援助

その他学生生活指導上必要とみとめられる事柄

お知らせ

武蔵工業大学後援会 ホームページ開設!

今年度4月より、インターネット上で本会のホームページを公開しております。本会の事業内容・活動状況等をご覧になることができます。どうぞご利用ください。

アドレス

<http://www.comm.musashi-tech.ac.jp/~kouenkai>



2. 「大学と父母との連絡会」の開催

全国各地において「大学と父母との連絡会」を共催する
今年度は、本学会場(世田谷キャンパス・横浜キャンパス)を含め25会場で開催する。本学会場は、平成13年9月29日(土)を予定

3. 「役員・評議員と大学教職員との懇談会」の開催

平成13年5月26日(土)の評議員会終了後の懇談会を大学教職員と後援会役員等で歓談する

4. 大学行事への協力

大学及び学生が主催する大学行事、企画への援助協力を行う(体育祭、MI-TECH横浜祭、MI-TECH祭)

5. 学生厚生援助

学生の厚生施設・設備の充実のための援助を行う(学生利用施設)

6. 緊急奨学金の貸与

会員の家計の急変により学業の継続が困難な学生に対し、授業料相当額(全額又は半額)を貸与する

7. 会報の発行

後援会の会誌「Mi-com」を年2回発行し、学内の動きを父母に連絡するとともに、誌面を通して会員相互の親睦をはかる

8. 新入生研修行事(フレッシュマン・キャンプ)への援助

毎年4月に実施する新入生対象のフレッシュマン・キャンプへの援助を行う

2 運営

1. 会議

理事会 2回 平成13年5月12日(土)、11月23日(金・祝)予定
評議員会 1回 平成13年5月26日(土)

2. その他

後援会事務担当者の採用

(専任・アルバイト 平成13年4月1日～平成14年3月31日)



武蔵工業大学後援会への入会のお願い

武蔵工業大学後援会は、全在学生の父母を正会員として構成され、大学の教育方針に則り、大学と父母の連携を緊密にして子女の修学、学生生活の向上を助け、その他大学を後援してその発展に寄与するとともに、会員相互の親睦を図ることを目的として、学生の課外活動への援助や夏休み期間中に実施される「大学と父母との連絡会」などの各種後援事業を行っております。

特に、ご子女の入学後直ぐに実施されます新入生研修行事への援助事業や会員の家計急変に対応するための「緊急奨学金制度」は、着実に実効を上げております。

未入会の方におかれましては、以上の趣旨にご賛同の上、是非本会に入会され、子女の修学をはじめ、大学を後援する各種事業にご協力いただきたく、ここにお願ひ申し上げます。

武蔵工業大学後援会 会長 中山安男

入会に際しての
お問い合わせ先

武蔵工業大学後援会 事務局

TEL (03) 3703-3111 内線 2187、2185

FAX (03) 3707-1160

E-mail: mkoenkai@adm.musashi-tech.ac.jp

科 目	平成13年度予算	備 考
(収 入 の 部)	(円)	
1. 会 費	44,650,000	新入生の加入者
2. 奨 学 金 返 済 収 入	1,072,500	奨学金返済金
3. 雑 収 入	110,000	利息収入
4. 前 年 度 繰 越 金	8,421,193	
収入の合計	54,253,693	
(支 出 の 部)		
事業費	44,620,000	
5. 正 課 外 教 育 援 助 費	28,720,000	援助の内容については下表を参照
6. 父 母 連 絡 会 費	3,400,000	全国各地で年1回大学と共催
7. 大 学 行 事 協 力 費	2,700,000	体育祭、MI-TECH横浜祭、MI-TECH祭等
8. 学 生 厚 生 援 助 費	2,000,000	厚生設備等への援助
9. 奨 学 資 金 費	3,000,000	緊急奨学金
10. 会 報 発 行 費	2,700,000	後援会広報誌の作成(2回)
11. 新 入 生 研 修 行 事 費	2,100,000	全学的に行うフレッシュマンキャンプに係わる援助
運営費	7,130,000	
12. 事 務 費	4,400,000	人件費、事務委託費、消耗品費
13. 会 議 費	1,100,000	理事会、評議員会
14. 印 刷 ・ 通 信 費	500,000	通知、案内の郵送、印刷代
15. 旅 費 ・ 交 通 費	1,000,000	地方評議員、役員の旅費
16. 備 品 費	100,000	後援会関係の備品、什器
17. 雑 費	30,000	振込手数料等
予備費	500,000	
特別会計	2,000,000	
18. 後 援 会 基 本 積 立	0	
19. 記 念 事 業 費 積 立	1,000,000	大学創立記念事業協力
20. 学 生 事 故 対 策 援 助 費 積 立	1,000,000	学生事故対策として1,000万円まで積立
21. 特 別 課 外 活 動 援 助 費 積 立	0	大規模な対外遠征援助500万円まで積立完了
小 計	54,250,000	
次年度繰越金	3,693	
支出の合計	54,253,693	

正課外教育援助費内訳

科 目	平成13年度予算	援 助 対 象
正 課 外 教 育 援 助 費	28,720,000(円)	
課 外 活 動 援 助 費	27,020,000	(ア)(イ)(ウ)(エ)は「課外活動に対する補助制度」の費用。(オ)は強化指定団体制度により運用
(ア)学 団 連 援 助	(14,000,000)	学団連本部、体育会・文化団体連合会各部、MI-TECH祭実行委員会、MI-TECH横浜祭実行委員会、吹奏楽団、放送会、新聞会
(イ)同好会・学科研究会援助	(1,120,000)	学団連準加盟の同好会連合及び学科研究会連合の各団体
(ウ)一 般 援 助	(8,400,000)	課外研究、対外活動、情報収集活動、環境向上運動、用具整備、特別企画、地域活動
(エ)学 生 行 事 援 助	(500,000)	スプリング・フェスティバル、ミュージック・フェスティバル等
(オ)団 体 強 化 援 助	(1,200,000)	強化指定団体
(カ)そ の 他 の 援 助	(1,800,000)	シャトルバス援助
学 生 顕 彰 費	700,000	課外活動奨励賞、後援会長賞等
学 生 生 活 指 導 費	1,000,000	リーダー教育、救命講習会受講料援助、学生の国際交流指導、就職活動援助等

役員 (敬称略)

会長	中山安男	環境情報 (再)	理事	川端隆司	電気電子 (再)
副会長	安部 實	建築学 (再)	理事	小田俊理	経営 (再)
副会長	漆原道生	建築 (再)	理事	吉川秀二	エネルギー基礎 (再)
理事	谷口正克	機械工学 (再)	理事	飯尾紀直	環境情報 (再)
理事	落合 悟	電気工学 (再)	理事	置田泰和	機械 (新)
理事	橋本慶隆	電気工学 (再)	理事	神山次郎	電気電子 (新)
理事	黒須征男	経営工学 (再)	理事	高橋 渡	電子通信 (新)
理事	三宅ヨシノリ	電気工学 (再)	理事	辻 定彦	電子情報 (新)
理事	鎗居秀禎	機械 (再)	理事	佐丸雄治	土木 (新)
理事	山田 亨	電子通信 (再)	理事	山崎郁太郎	経営 (新)
理事	小林昭夫	電子情報 (再)	理事	岡田智也	環境情報 (新)
理事	名畑博之	経営 (再)	会計監査	高橋佑太郎	電気工学 (再)
理事	堀江正直	土木 (再)	会計監査	藤田豊比古	電子通信 (再)
理事	原澤孝夫	経営 (再)			
理事	谷口育生	エネルギー基礎 (再)			
理事	久保木伸浩	機械 (再)			

顧問 学長 堀川清司
顧問 教授 海老原大樹

評議員 (敬称略)

花村 嘉彦 東京都 生産機械工学 (再)
森 元 富山県 電気工学 (再)
四方 英雄 千葉県 電気工学 (再)
多胡 護 岡山県 機械工学 (再)
大石 隆重 埼玉県 機械システム工学 (再)
北本 正義 広島県 土木工学 (再)
桜井 武 神奈川県 電子通信 (再)
豊田 宜臣 千葉県 電子通信 (再)
村田 統治 東京都 機械 (再)
加部 祥司 神奈川県 機械 (再)
宮崎 和明 神奈川県 機械システム (再)
森岡 隆行 茨城県 電気電子 (再)
森下 圭太 静岡県 電気電子 (再)
伊藤 誠一 東京都 電子通信 (再)
江本 豊海 神奈川県 電子通信 (再)
斉藤 俊幸 神奈川県 電子情報 (再)
塚谷 清博 石川県 土木 (再)
打本 幸雄 石川県 経営 (再)
和田 一男 埼玉県 経営 (再)
濱田 陽敏 神奈川県 環境情報 (再)
太田 秀夫 東京都 機械 (再)
齋藤 文彦 東京都 機械システム (再)
豊後 博己 兵庫県 機械システム (再)
今田 武男 山口県 電子通信 (再)

小田 淳一 栃木県 電子通信 (再)
石原 昌司 沖縄県 電子情報 (再)
齋藤 淳三 千葉県 電子情報 (再)
栗本 靖彦 群馬県 建築 (再)
齋藤 邦宏 埼玉県 建築 (再)
石黒 勝利 北海道 土木 (再)
宮代 信英 福島県 経営 (再)
林 雅彦 東京都 エネルギー基礎 (再)
相馬 郁夫 神奈川県 環境情報 (再)
古岡 孝 東京都 環境情報 (再)
川村 潤 東京都 機械 (再)
高島 和憲 東京都 機械 (再)
阿部 栄一 神奈川県 機械システム (再)
原田 洋一 高知県 機械システム (再)
井上 博 神奈川県 電気電子 (再)
和田 守 山梨県 電子通信 (再)
与那原 正 沖縄県 電子情報 (再)
十河 護 香川県 建築 (再)
長滝 一雄 長野県 土木 (再)
酒寄 光男 栃木県 経営 (再)
磯部 義久 静岡県 エネルギー基礎 (再)
岩田 邦男 神奈川県 エネルギー基礎 (再)
相坂 功 新潟県 環境情報 (再)
阿部 賢一 千葉県 環境情報 (再)

上月 直登 神奈川県 機械 (新)
首藤 光宏 神奈川県 機械 (新)
石川 健哉 茨城県 機械システム (新)
千田 哲也 東京都 機械システム (新)
神田 積 広島県 電気電子 (新)
税所 廣志 宮崎県 電気電子 (新)
松居 正 東京都 電気電子 (新)
大塔 容弘 東京都 電子通信 (新)
安田 一行 福岡県 電子通信 (新)
熊添 政治 千葉県 電子情報 (新)
高島 勝義 群馬県 電子情報 (新)
明地 恭敬 愛媛県 建築 (新)
大深 修 岡山県 建築 (新)
青木 茂 栃木県 土木 (新)
笠原 徹 神奈川県 土木 (新)
奥 行夫 鹿児島県 経営 (新)
相模 静夫 神奈川県 経営 (新)
茅野 元昭 愛知県 経営 (新)
石田 敏道 埼玉県 エネルギー基礎 (新)
久保田俊治 山梨県 エネルギー基礎 (新)
青柳 廣 神奈川県 環境情報 (新)
飯田 真也 神奈川県 環境情報 (新)
栗城 源一 福島県 環境情報 (新)

後援会の事業の一つに「課外活動に対する補助制度」があります。これは学生が自主的な財源確保の努力をしつつも補助を受けることにより、特色ある活動や、より高レベルの活動が可能となり、キャンパスライフの充実に貢献することを期待して設けられているものです。

統括団体への援助

団体名	学生代表者	申請件名	援助額(円)
学生団体連合会	北 大 輔	今年度の本部及び傘下団体の活動費援助について	14,000,000
同好会連合本部(24団体)	鈴木 大介	今年度の本部及び傘下団体の活動費援助について	660,000
学科研究会連合	佐田 和人 富子加 潤	今年度の本部及び傘下団体の活動費援助について	500,000
	小泉 知之	今年度の本部及び傘下団体の活動費援助について	

一般補助 第1回分

団体名	学生代表者	申請件名	申請理由	援助額(円)
学生団体連合会	北 大 輔	印刷機の新規導入	5月末のリース切れにより現印刷機の使用不可能。6年使用のリース機の老朽化により、継続より新規導入が好ましい。各団体使用の非常に重要な機器の為、新規導入希望。	210,420
体育会本部	斉藤 仁史	体育会ナイテラー	7月 8、9日予定のナイテラーに昨年同様多くの参加者が見込まれ、その運営費の補助。	233,200
新聞会	中園 義盛	ネットワーク対応レーザープリンタ新規購入	現プリンタがネットワークに対応していない為たびたび遅延が発生。また画像表現能力が著しく劣っているなど、Mitwork紙の紙面画質向上には新規購入が必要。	83,790
放送会	出口 英樹	PAミキサーの新規購入	購入後10年の現ミキサーは各所に故障が発生。修理費も多額の為、新規購入希望。	748,125
MFA.	亀井 寛之	連絡用トランシーバの購入	MFAではトランシーバを所有していない為学連連より借り受けているが、必要数が揃わず昨年のMI-TECH祭において連絡が円滑に進まなかった。その為、購入希望。	186,480
		パソコンリース2年目	昨年度申請のパソコンリース2年目	144,900
ラジオクラブ	亀井 茂人	ハムフェア2000への出席参加	年に一度のアマチュア無線界の大イベントである ハムフェア2000に出席。参加料その他の補助。	47,500
ワンダーフォーゲル部	篠田 征吾	新規購入テント代金	部員数の増加、部保有のテントの破損に伴い新規テント購入。部活動に必要な欠くべからざる 特別用具の為、補助希望。	50,000
ラグビー部	郡司 敦	第2回東日本大学セブンス大会出場	左記大会出場における宿泊費、交通費、備品代等の補助。尚、当大会リーグ戦 第2位、カップトーナメント出場 20大学中ベスト8入り。	208,000
		理工系リーグ大会優勝	左記大会優勝	100,000
アイスホッケー部	榎本 清隆	2000年度関東大学アイスホッケー選手権大会優勝	左記大会優勝	100,000
弓道部	武居 芳明	4部リーグ全勝優勝	左記大会で4戦全勝し、3年ぶりにリーグ優勝を果たした。	100,000
陸上競技部	町田 貴宏	部活動に必要な器具	部活動に必要な器具が現在部がない、あるいは不足している為、補助希望。	41,100
機親会	佐田 和人	ワールド・エコノムープ(WEM) 出場結果及び次期省エネカー製作に対して	5月3、4日 ワールド・エコノムープin秋田に参加。3台出場し、いずれも昨年の自己記録を更新。1台は6位入賞を果たした。	100,000
合 計	12団体		14件	2,353,515

一般補助 第2回分

団体名	学生代表者	申請件名	申請理由	援助額(円)
学生団体連合会 横浜分室	本多 太郎	印刷機導入費用の補助	完成年度を迎え団体数も増えた横浜キャンパスでの諸団体の活動の活発化に備え、印刷機導入にかかる費用の補助。	336,000
体育会本部	矢崎 秀則	パソコン関係の故障に関して	体育会本部室で現在使用しているパソコンとプリンタの調子が悪く、書類の作成がスムーズに行えない。修理を試みたが改善がみられず購入希望。	98,280 29,925
新聞会	中園 義盛	編集作業用 パソコンリース費用に対する補助	平成10年度より後援会補助によるパソコンリースの継続。編集作業の中軸であるこのパソコンリース継続で現在の編集効率の維持可能と確信。	104,580
自動車部	島津 俊介	全関東ダートトライアル選手権大会 14位。全日本学生ダートトライアル選手権大会出場権獲得	平成12年度 全関東学生 ダートトライアル選手権大会において男子の部14位。平成12年度 全日本学生 ダートトライアル選手権大会出場権獲得。	30,000
		部車の修理費	平成12年度全関東学生ダートトライアル選手権大会にて部車が損傷、走行不可能となった。平成12年度全日本学生ダートトライアル選手権大会出場権を得たが多額の修理費を考慮し断念。	50,000
		部車の修理費	関東学生軽自動車6時間耐久レースにて部車が転倒し損傷。走行不可能となった。	
写真部	笠原 英基	来年3月に行う4大学合同写真展の諸経費	来年3月に行う4大学合同写真展は80余名参加の大規模なもので、展示会場のレンタル費等多額の費用がかかり補助希望。	30,000
鉄道研究会	菊池 桂一郎	電車とバスの博物館におけるNゲージ模型大運動会	夏休みイベント Nゲージ大運動会にて当部所有の大レイアウトを使用。例年大盛況のこの企画は、我が校の知名度を高める絶好の場となっている。しかし製作費に多額の費用がかかり補助希望。	30,000

団体名	学生代表者	申請件名	申請理由	援助額(円)
ラジオクラブ	亀井茂人	第12回 ALL JA1コンテスト3位入賞	関東全域のアマチュア無線局全てが対象の左記コンテストにて3位入賞という成績を残す。今後の戦力増強のための無線機購入の補助希望。	30,000
マンドリンクラブ	池田昌隆	第38回 定期演奏会	40周年を迎え例年に比べ大きな催しを希望だが部員が少ない為個人負担が大きく補助申請。	50,000
バスケットボール部	渡辺 徹	関東男子学生バスケットボールリーグ6部優勝	6部リーグ32校中4校が4部へ昇格となる。計8試合のため消耗品の使用頻度が高く予算超過。援助希望。	100,000
		関東男子学生バスケットボールリーグ4部昇格	リーグ編成が来年度より8部から7部に変更となり、本来5部昇格が4部昇格となった。昇格を目標の練習で活動消耗品がかさみ予算超過。	
水泳部	小泉和也 竹村亜衣	大阪工業大学定期戦による経費	左記大学定期戦を今年は我が工大にて開催。相手校の宿泊、食費等を我が部員が全て負担。	31,000
		辰巳国際水泳場での練習費用の補助	屋外プールのため本校での秋から春の練習は望めず、日本学生選手権にむけ戦力強化の為、辰巳国際水泳場での練習不可欠。補助希望。	40,000
アイスホッケー部	榎本清隆	日本学生選手権水泳競技大会にかかる費用の補助	日本学生選手権水泳競技大会に1年竹村亜衣が出場。(50m自由形47位、100m自由形24位)来年決勝進出に向け費用補助希望。	20,000
		練習の為にリンク代補助	工大に練習施設がないため毎週2回新横浜プリンスホテルスケートセンターのリンク使用。使用料、交通費にかなりの経費がかかり補助希望。	450,000
弓道部	武居芳明	東京都理工系リーグ優勝	2000年度東京都理工系リーグ優勝に対して。	100,000
		全関東学生弓道選手権大会 個人決勝戦進出	最大規模の左記大会で香取、熊谷、打本、井口の4名が決勝に進出し、我が校弓道部の進展を示した。	40,000
ヨット部	塚谷宣武	ヨット試乗会の開催に対して	9月7日～17日(11日間)ヨット試乗会を開催。多勢の参加により成功裏に終わる。安全に試乗会を実施する為の経費の一部補助希望。	60,000
準硬式野球部	中島豊雄	平成12年度東海三地区大学対抗準硬式野球大会選抜選手派遣	左記大会に本学より1名選抜選手が選出され、その費用負担の軽減の為、補助希望。派遣後の更なる部活動の活発・活性化が見込まれる。	20,000
アメリカンフットボール部	深江洋介	秋季リーグ戦参加費等の補助	秋季リーグ戦出場による登録費、チケット代、試合道具運搬費等多額の費用を要する為補助希望。	150,000
横浜キャンパス音楽団体連合会	庄司顕則	横浜キャンパス音楽団体連合会の共有機材購入について	より活発で大規模な活動が目的の団体のため学内、外での様々なイベント参加協力に見合った機材が必要となり資金面で困難。その補助希望。	257,090
スカイスーツ同好会	高見沢洋和	スポーツ安全保険における補助	保険の加入はスポーツをする上で必要最小限であるがその支払いは学生にとって大変な為申請。	90,000
		「尾神岳パラグライダーシュテットチャンピオンシップ」における補助	全国学生対象の大規模な左記大会で好成績を納めた。遠隔地(新潟)での開催で交通費、宿泊費等個人負担が多。補助希望。	30,000
機親会	佐田和人	「2000年度燃費競技」出場結果及び次期省エネカー製作に対して	日本省エネ研究会燃費競技会にて大学チーム4位特別賞として自動車技術会賞受賞。HONDA エコノパワー燃費競技全国大会では大学クラス6位入賞。	100,000
		NHK主催アイディアロボットコンテスト参加に対して	左記コンテスト参加の権利を得る。参加に際して以前より10数倍大きなロボットが必要。また会場が福島の為滞在が必要となり、その補助希望。	30,000
合計	18団体		26件	2,306,875

一般補助 第3回分

団体名	学生代表者	申請件名	申請理由	援助額(円)
新聞会	濱田有土	ラグビー部の全国大会出場に対する取材	学内新聞「Mitwork」にラグビー部全国大会出場の記事記載の為、会場の名古屋への取材費。	123,560
		データバックアップ用CD-R新規購入に対する補助	本会発行の学内情報誌「Mitwork」の紙面作成効率向上のため、CD-R新規購入を計画。過去のデータ参照のための整理にはCD-Rは有効。	44,997
M.F.A.	前島正人	FAX付電話購入のための補助	現在使用のFAX付電話が故障がちのため活動に支障をきたしている。M.F.A.の活動にFAX付電話は必要不可欠であり購入希望。	39,690
Y.F.A.	金本賢一郎	PCサーバ購入に関する補助	2000年横浜祭では従来の広報活動に加えホームページ上での情報展開を重視。サーバ構築の独自の設備を有していないため補助希望。	44,100
鉄道研究部	菊池桂一郎	機関誌「スチールカー学祭号」の発刊	機関誌「スチールカー学祭号」を学祭にて無料で配布。昨年同様コンピュータによる高画質編集を行ったため多額の費用がかかった。	50,000
モーターサイクル部	福島太郎	ホンダ・キャンパスオフロード大会第1～3戦(東日本)全国大会	左記大会にて東日本大会総合4位・全国大会10位の成績を残した。全国版月刊オフロードにも掲載され、我が大学説明会に来た学生数人が訪ねてくるなど武蔵工大のアピールに貢献できた。	70,000
		ライディングスポーツカップ出場費用の補助(関東ロード選手権)	左記選手権で優勝2回、第2位2回と好成績を残した。学業との両立を心掛けながらアルバイトで出場費用を稼いでいるが限界がある。その補助希望	30,000
ワンダーフォーゲル部	篠田征吾	関東学生ワンダーフォーゲル連盟主催のP.L.講習会参加費	来年度のP.L.(リーダー)の育成(医療技術、登山技術、遭難時の対応)を目的とし2泊3日のP.L.講習会に参加。その補助希望	26,000
ラグビー部	郡司 敦	地区対抗予選全勝優勝	地区対抗予選において全勝優勝。その際の宿泊費、交通費、備品等の援助希望。	100,000
アイスホッケー部	榎本清隆	全国地区対抗 ラグビーフットボール大会出場	地区予選において全勝優勝。全国大会に出場となり、宿泊費、交通費、備品等の援助希望。	1,500,000
		関東大学アイスホッケー選手権大会	左記大会を6勝1敗の戦績で準優勝。3部昇格に向け練習を続けている。	100,000
弓道部	山中弘毅	女子リーグ戦 部優勝部へ昇格	リーグ優勝し、入れ替え戦にてみごと 部へ昇格。初のリーグ昇格にて今後に期待。	100,000
ヨット部	関沢創一郎	メンテナンス・スピニセル修理	海上練習の際、強風にてメンテナンス・スピニセルが破損。安全航海上がかさずこのできないものであり9月の試乗会開催も控えその補助希望。	20,000
合計	10団体		13件	2,248,347

平成13年度「大学と父母との連絡会」のお知らせ

全国25ヶ所
で開催

後援会と大学との共催により平成13年度「大学と父母との連絡会」を下記の25会場で開催します。大学側から教職員の方が出席され、教育方針や現況等について説明していただくと共に、在学する子女の修学および学生生活上の諸問題について懇談することを目的としております。奮ってご出席ください。

平成13年度「大学と父母との連絡会日程および会場」

開催地	開催日	時間	会場
札幌	9月1日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	札幌東急イン 〒064-0809 北海道札幌市中央区南4条西5-1(011-531-0109)
秋田	9月8日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	アキタスカイホテル 〒010-0921 秋田県秋田市大町2-2-3(018-862-0501)
仙台	9月9日(日)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	ホテル仙台プラザ 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町2-20-1(022-262-7111)
郡山	9月8日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	ホテルハマツ 〒963-8578 福島県郡山市虎丸町3-18(024-935-1111)
宇都宮	9月9日(日)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	関東チサンホテル宇都宮 〒321-0964 栃木県宇都宮市駅前通り3-2-3(028-634-4311)
水戸	9月1日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	ホテルシーズン 〒310-0801 茨城県水戸市桜川1-9-6(029-227-0008)
東京	9月29日(土)	受付開始 学内見学希望 10:15 見学未希望 12:00	武蔵工業大学 工学部 〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1(03-3703-3111)
横浜	9月29日(土)	受付開始 10:00 開 催 10:30~14:00	武蔵工業大学 環境情報学部 〒224-0015 神奈川県横浜市中区牛久保西 3-3-1(045-910-2500)
新潟	9月8日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	ホテルイタリア軒 〒951-8061 新潟県新潟市西堀通7-1574(025-224-5111)
高崎	9月9日(日)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	ホテルメトロポリタン高崎 〒370-0849 群馬県高崎市八島町222(027-325-3311)
甲府	9月8日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	ホテル談露館 〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-19-16(055-237-1331)
長野	9月8日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	ホテル国際21 〒380-0838 長野県長野市県町576(026-234-1111)
浜松	9月1日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	オークラアクシティホテル浜松 〒430-7733 静岡県浜松市板屋町111-2(053-459-0111)
静岡	9月2日(日)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	ホテルセンチュリー静岡 〒422-8575 静岡県静岡市南町18-1(054-284-0111)
金沢	9月1日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	金沢スカイホテル 〒920-0855 石川県金沢市武蔵町15-1(076-233-2233)
富山	9月2日(日)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	名鉄ヤマホテル 〒930-0004 富山県富山市桜橋通り2-28(076-431-2211)
大阪	9月1日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	リーガランドホテル 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島2-3-18(06-6202-1212)
名古屋	9月2日(日)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	名古屋国際ホテル 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-23-3(052-961-3111)
高知	9月1日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	オリエントホテル高知 〒780-0861 高知県高知市升形5-37(088-822-6565)
松山	9月2日(日)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	スカイホテル 〒790-0003 愛媛県松山市三番町8-9-1(089-947-7776)
広島	9月1日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	リーガロイヤルホテル広島 〒730-0011 広島県広島市中区基町6-78(082-502-1121)
岡山	9月2日(日)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	岡山国際ホテル 〒703-8274 岡山県岡山市門田本町4-1-16(086-273-7311)
宮崎	9月1日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	ホテルオーシャン45 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山(0985-21-1133)
福岡	9月2日(日)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	ホテルステーションプラザ 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-1-1(092-431-1211)
那覇	7月8日(日)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	ホテル西武オリオン 〒902-0067 沖縄県那覇市安里1-2-21(098-866-5533)

注 意：東京会場については、学内見学希望の有無により、集合時刻が異なりますので、ご注意ください。